川口町公民館報

公民館報

第76号

発行人 古田島 正
編集人 金子 真
印刷所 山物常印刷所

昭和四十一年度 予算決まる

一般会計 一一八、六〇〇千円
特別会計 七七、七三九千円

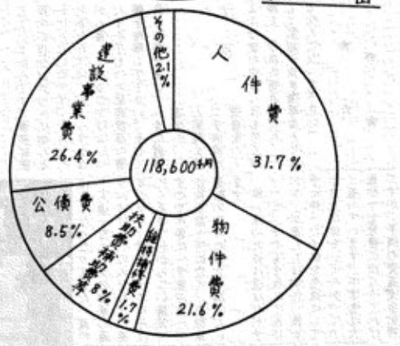
一般会計においては、前年度より一二、五四一千円、特別会計においては、一二、二三〇千円の増であり、投資的経費の主なものは、東部保育所の建設及び竹田地区に建設が予定されているテレビ中継放送所の資材運搬用道路の築造、住宅団地の造成等でありますが、本年度予算の内容は次のとおりであります。

特別会計 (単位千円)

区分	41年度	40年度	比較	摘要
国民健康保険事業	47.806	42.194	5.612	
農業共済事業	6.892	6.358	534	
ガス事業	13.432	11.019	2.413	
簡易水道事業	5.527	4.938	589	
住宅団地造成事業	4.082	1.000	3.082	
計	77.739	65.509	12.230	

一般会計 (単位千円)

オ入 区分	41年度	40年度	比較	オ出 区分	41年度	40年度	比較
町税	28.919	24.379	4.540	議会費	5.775	5.374	401
地方交付税	58.158	45.717	12.441	総務費	23.866	21.542	2.324
分担金及負担金	2.426	73	2.353	民生費	18.035	5.364	12.671
使用料及手数料	3.508	2.913	595	衛生費	5.403	4.954	449
国庫支出金	5.078	13.951	△8.873	労働費	1.736	2.675	△939
県支出金	3.428	2.740	688	農林水産業費	8.581	5.283	3.298
財産収入	2.782	2.242	540	商工費	1.989	1.902	87
寄附金	381	2.410	△2.029	土木費	11.173	7.909	3.264
繰入金	301	301	0	消防費	2.928	2.637	291
繰越金	200	200	0	教育費	28.343	23.769	4.574
諸収入	1.419	1.433	△14	災害復旧費	125	15.348	15.223
町債	12.000	9.700	2.300	公債費	10.066	9.042	1.024
				諸支出金	330	10	320
				予備費	250	250	0
計	118.600	106.059	12.541	計	118.600	106.059	12.541



教員人事異動の結果

ことしもおよぜいの先生方の異動がありました。転出一人名、転入一五名、新採用五名の異動が次のとおり決定しましたのでお知らせします。

1 転出

氏名	旧任校	転出先 都市	転出先 学校名	備考
岡 真夫	泉水小	北熊	明神小	
林 久	田麦山小	刈羽	結城野小	
亀山 和子	木沢小	西蒲	佐渡山小	
石田 健治	川口小	直江津	長浜小	
佐藤 理子	田麦山小	長岡	深沢小	
高橋 二郎	田麦山小	新潟	太郎代小	
荏弓有為子	木沢小	新潟	太郎代小	
田辺三男志	泉水小	長岡	上川西小	
寄木 直司	川口小	十日町	下条小	校長
中島 末三	田麦山小	小千谷		
二階堂逸子	田麦山中			
白石 保	川口中	長岡	宮内中	
正司俱一郎	川口中	長岡	宮内中	
大島 月照	田麦山中	三条	第四中	
石原 允之	田麦山中	直江津	谷浜中	
水島 若枝	田麦山中	西蒲	味方中	
真島 義夫	木沢中	長岡	宮内中	
江口 木沢中	中魚	長岡	宮内中	
桜井 重正	田麦山中	新潟	第三中	校長

2 転入

氏名	旧任校 都市	旧任校 学校名	新任校	備考
高橋 登	西蒲	入地郷小	田麦山小	
五十嵐信江	北蒲	笠岡小	木沢小	
柳 駿子	燕市	川前小	木沢小	
宮 栄生	中魚	仙田小	泉水小	
大宮 球子	十日町	野中小	田麦山小	
馬崎 道子	小千谷	東山中	川口中	
植木 貞夫	直江津	第二中	川口中	
大塚 節子	南魚	石内中	田麦山中	
矢敷 精一	西頸	青梅中	田麦山中	
内田美恵子	新潟	金津中	田麦山中	
阿部 吾治	西蒲	中之口中	木沢中	
古田島宏豊	中魚	貝野中	田麦山中	
岡 吾策	三条	第四中	田麦山中	
南雲 栄作	長岡	富曽亀小	川口小	校長
目黒 繁	南魚	六日町中	木沢中	教頭

新採用

氏名	旧任校	新任校	備考
小泉 孝	田麦山小	品田宮一郎	田麦山小小高分校
佐藤 昭宏	木沢小	田中 ヒデ	川口中
佐野 祥三	田麦山小	山ノ相川分校	

社会教育関係委員決まる

四月十二日の教育委員会議において、社会教育関係の委員が次のとおり決定された。

1. 社会教育委員
山吉 玄蕃 委員長
山岸 義三 副委員長
山田貫之助
磯部 幸町
丸山 省三
関 登代一
目黒 タケ
以上七名

2. 公民館運営審議委員
南雲 幸作 川口小校長
覚張 万治 泉水小校長
岡本健次郎 田麦山小校長
星野 武夫 木沢
平沢助太郎 野田
山吉 勝治 東部
内藤 フミ 東部
山田 英雄 西川口
小見 芳雄 田麦山
大洞清一郎 小高
小西登久治 西川口
喜多村喜市 和南津
鈴木 正一 相川
以上七名

役場職員異動

住民課 関誠一郎（ガス事業場）ガス事業場 古田島友一郎（川口中学校用務員）覚張千代野（山田庶子（総務課）収入役室 星野キヌ（川口診療所）川口診療所 桜井文夫（税務課）総務課 土木課 ○新採用 住民課 松崎 巽 内山教夫（住民課）土木課 産業課 関セイ子 阿部義晴（収入役室）税務課 ガス事業場 関 潤子 課 保科正紀（産業課）土木課 広井美智子（ガス事業場）川口中給仕 広井幸子 住民課 関ミチ（中学校給仕）川口小給仕 江畠富子 川口診療所 森山

新任の御挨拶

田麦山中学校長 関吉作

このたび桜井校長先生御栄転のあとを受けつがせていただき、三条市第四中学校から赴任した者でございます。校長歴は初経験、未熟にも適し得ない浅学非才ではありますが向後、地域教育の一端を担う者として、何かと御指導御鞭撻下さるようお願いいたします。

挨拶

川口小学校長 南雲幸作

この四月の異動で長岡市富曽亀小学校から川口小学校へ転任を命ぜられてまいりました。川口町住民の皆さまの御支援と御協力により川口町教育向上に微力ではありますがその大任をはたしたいと思っております。

町の様子や人の心の動きなど短時日ではとていつかめるものでありませんので、一日一日と皆さまに接しつゝ色々の事を体験しながら川口町の美しい自然環境と、よい教育環境を生かし、地道な歩みをつゞけていきたいと考えています。なお、公民館活動は教育の重要な一環でございます。そうした仕事の仲間に入れていただけることについて、何分ともよろしく願いあげます。まゝこに粗辞ですが一言申しのべまして新任の挨拶といたします。

加美久図加護

自耕庵芳守

世の中は見方によって、きゝ方によってとんでもないものがいになります。私の知人で生花の先生をしている人があるが、山道で木の枝ぶりを見て、木に何を添えて鉢にいれたら美しい生花ができるかなあと思って立ち止って眺めていたらそこへ通りかゝった人が声をかけて云わく

蛇が何かいますか、と何のまに勝手主義、我儘主義になって、自由のはきちがいにならないでしょうか、朝かなもの。人は商売にうつゝを抜かせるのだ。

よって、職業によって、立ちもうけたの、損をしたのと云って、泣いたり、笑ったり、怒ったりするのが現実の人間の有様ではないでしょうか。果していつまで我々の生命がつづくでしょうか、世の中のうつりかわりにしたがって、時代相応の生活、及び修養を必要とすることは言を待ちません。

我々は正しい認識のもとに常に自由な空気と平和の精神の内に心の修養をつゝで、広く知識を世界に求め、精神よく手をつないで行かうではありませんか。

子供を交通事故から守りましょう

丸山光伸

新十七号線閉通に伴い、牛ケ島部落では交通の便がわるくなり、泉水小学校に通う児童は具の沢地区にある大原海の所まで出て、十七号線を天納部落まで行き学校に行かねばならなくなりました。道の幅は狭くなり、又自動車の通りも多くなり、交通量は年々増加しつゝあります。

昨年は交通安全を初め、すべて、学童たちは黄色い旗を手に持った子供を先頭にして小さな体をいくつかつくって通っています。中学生は大島の十七号線に出てゆくわけですが、子供の交通安全を初めとして、自動車運転の方々に協力を頂いています。

寒い寒った日は道はだけすべって、ややもすればころび、学童たちは黄色い旗を手に持った子供を先頭にして小さな体をいくつかつくって通っています。中学生は大島の十七号線に出てゆくわけですが、子供の交通安全を初めとして、自動車運転の方々に協力を頂いています。

あなたの一票で明るく、正しい選挙をいたしましょう

5月8日は県事知選挙投票日です

投票受付時間（午前午後 67時から 67時まで）

きけんしないよう必らず投票してください

小さな一票 大きな力

大人というのはどういう意味でしょう。ただ体が大きい人のことでしょうか。いいえ、分で正しい選挙を行わないでいるのです。自分以外の人に知れるわけがないのです。それなのに「政府は何をしているんだ」といってもはじまらない事です。みんな自分で選挙を行わなかったからです。

ささやかな私の願い

T生

ようなお世の中を一日も早く排除し、子供に勝さる大人、そして私達の良き指導者となれる大人になって下さい。

室内にガストーブ販付け

相川地区公民館

相川地区公民館の室内にことのたび新しくガストーブ、ガスコンロが取りつけられました。二階が集会場となっているが、村の人達の気持であります。

民謡と放言

和南津 関正治

東京から名古屋へと知人をたずねて十日ばかり旅行して来た。二十年近くも逢えなかった人、毎年逢っている人、社会的にも経済的にも相当な生活をしている者、せめて一宵で親子水入らずで人生の楽しさを味わっている人、それは皆まち〳〵だが、異句同音にして話は郷里の状況である。生まれて育った郷里を偲びながら忘れる事の出来ないのは故郷である。

「よい言葉を使いましょう」などの合言葉で、子供の頃使った故郷がいくつか消えたが、やはり此の地に育てられた言葉は永遠に残るであろう。異郷の地に居住する者が、同郷人と語るは、ふる里の故郷と民謡で、お互いに郷里をなつかしく味わい合ったり、甚句、ヨイヨサア、そしておけさ、広大等等皆故郷とはなせない郷土のにおい豊かなものである。それだけに郷里をはなれている者には郷愁にひたり、郷里を偲ぶに充分であろう。

◈トンチン館◈

良心

二十万円はチト気がひけるので、こんご廿九万九千円いとまでなら貰うことにした。

○○茶園

（相川とぼけ）

心理

「駐車禁ず」と書いてもさっぱりきめがないので「有料駐車場」と書いたら事をおく者が全然なくなった。

空地主

（相川とぼけ）

相川地区公民館は、さきにこれをふすまで二つ区切りとし、集会場となっていましたが、相川部落では更に室内にプロパンガス用ガストーブ、ガスコンロ各二個をとりつけ、みんなによろこばれています。この集会場は従来、会議の際は炭火によって暖をとっていましたが、火おこし、火のあつかいなどに危険性も多く協議の末、思いってガストーブを取りつけることにしたもので、そのうちに婦人会等で料理講習などやる場合に利用できるよう大小二個のガスコンロも同時に取りつけました。

（相川 広井通信員）